

※引き続き、感染症防止に努めています。

※「下野新聞読者登壇10代の声」への投稿に挑戦しています。是非ご覧下さい!



# 学校だより 若竹

学校教育目標「自ら学び考え行動する生徒」  
スローガン～やる気・笑顔・感謝～



7月号 (第26号)

令和6年7月8日

都賀中学校長 倉井 誠(文責)

## 都賀中の学校生活の更なる充実をめざして!

### ●「ハッピー子育て講座&高校説明会」(1年生)～6/18(火)



本校の1年生と保護者を対象に実施しました。5校時には、栃木市教委生涯学習課主催「ハッピー子育て講座」として、講師のITSupport パソコン太郎(株)社長の\*\*\*\*様をお招きし、ご自身の娘さんとの約束事の経験談を中心にワークショップ型のお話を頂きました。

また、6校時には、県立小山西高校の\*\*\*\*教頭先生、私立青藍泰斗高校の\*\*\*\*先生にご来校いただき、それぞれの高校の説明をして頂きました。

両講座とも、とても丁寧に分かりやすいお話を頂き、生徒たちはメモを取りながら、熱心に聞き入り、目もいつも以上にキラキラ輝いていました。スマホ時代に生きる上での注意点や高校について真剣に考える有意義な時間となりました。今後の生活に是非生かしていって欲しいと思います。

### ●「思春期講演会」(3年生)～6/24(月)

栃木市子ども家庭センターの保健師である\*\*\*\*様、\*\*\*\*様、心理相談員の\*\*\*\*様を講師としてお招きし3年生を対象に本講演会を実施しました。

①思春期の心理的特徴を知り、生徒が心身ともに健やかに成長し、「性と生」について主体的に判断できる力を育み、望まぬ妊娠、中絶、性感染症、性の多様性(LGBT)について正しく理解する。

②命の尊厳や産み育てることの大切さを理解し、自分の存在を肯定的に捉え、自分も他人も大切にできる行動選択について学ぶ機会とする。

特に3年生は、これから自分の進路を真剣に考えなければならない時期を迎え、今日の講演を日頃の生活に役立ててくれれば幸いです。



### ●「部活動壮行会」(全校生徒)～6/26(水)

総体地区予選に向けて、壮行会を実施しました。いよいよ、3年生にとっては、最後の公式戦になります。どの部も悔いの残らぬよう、精一杯、やりきってほしいと思います。必勝!都賀中。



## 部活動 全力を尽くす!～下地区総体結果～

保護者の皆様には、大会会場への引率協力等、大変お世話になりました。本大会をもって引退した皆さんは大変お疲れ様でした。また、県大会に進んだ皆さんには更なる健闘を祈ります。なお、県大会は、この後各専門部の計画により実施されます。最後まで温かいご支援ご協力等をお願い致します。

### 下都賀地区総体結果

(6/28～30実施、敬称略)

#### 男子バスケットボール部 第6位 県出場

- ・2回戦 66-44 南河二中
- ・3回戦 44-59 乙女中
- ・敗復戦 1回戦 56-38 岩舟中、2回戦 41-77 豊田中

#### 女子バスケットボール部 準優勝 県出場

- ・3回戦 56-26 小山城南中
- ・準決勝戦 55-38 石橋中
- ・決勝戦 51-57 小山三中

#### 男子ソフトテニス部

- ・団体戦 トーナメント1回戦 0-3小山中
- ・個人戦 若狭・中田ペア 4回戦県代表決定戦敗退  
碓・荒井ペア 4回戦県代表決定戦敗退

#### 女子ソフトテニス部 個人戦 県出場 \*\*\*\*ペア

- ・団体戦 トーナメント2回戦 1-2西方中
- ・個人戦 \*\*\*\*ペア ベスト8

**男子バレーボール部 準優勝 県出場**

- ・予選トーナメント (2-0東陽中、2-1石橋中)
- ・上位リーグ (2-1壬生中、2-0石橋中、1-2南犬飼中)

**女子バレーボール部 第4位 県出場**

- ・予選リーグ (2-0栃木南中、2-0豊田中)
- ・決勝トーナメント 1回戦 2-1栃木東中  
3位決定戦 1-2 大谷中



**サッカー部 第5位 県出場**

- ・2回戦 都賀 0-0小山中 (PK4-3)
- ・3回戦 都賀 0-2東陽中

**卓球部**

- ・男子団体 予選リーグ敗退
- ・男子シングルス 県出場なし
- ・男子ダブルス \*\*・\*\*ペア県代表決定戦敗退
- ・女子団体 決勝リーグ1回戦 0-3小山三中
- ・女子シングルス 県出場なし
- ・女子ダブルス \*\*・\*\*ペア県代表決定戦敗退



**『自問タイム』下野新聞「10代の声」掲載者紹介**

※7/8現在、斜体文字は、新規掲載者

- ・3年生：**\*\*\*\*さん**、\*\*\*\*さん (2名)
- ・1年生：**\*\*\*\*さん**、\*\*\*\*さん、\*\*\*\*さん、\*\*\*\*さん、\*\*\*\*さん、\*\*\*\*さん、\*\*\*\*さん (7名)

**●栃木市では「小さな親切運動」を継続しています！夏休みも実践を！**

具体的な活動として、小中学生を対象に全市的に作文や標語の募集、表彰式、実践報告会を実施しています。生徒の皆さんには、今後もより意識して実践して欲しいと思います。「小さな親切運動」とは、昭和38年3月、東京大学の卒業式において、当時の茅誠司学長が、告辞の中で卒業生に贈った言葉です。

「小さな親切」を勇気をもってやっていただきたい。そしてそれがやがては、日本の社会の隅々まで埋めつくすであろう、親切という雪崩の芽としていただきたい。

これがきっかけとなって、この年の6月13日、茅学長をはじめ阿部真之介氏 (当時、NHK会長。以下同じ)、上田常隆氏 (毎日新聞社長)、栗田確也氏 (栗田書店社長)、坂西志保氏 (評論家)、上代たの氏 (日本女子大学学長)、渋沢敬三氏 (実業家)、原安三郎氏 (日本化薬社長) の8名が提唱者となり、「小さな親切」運動が発足しました。以来、60年以上、“できる親切は、みんなでしょう。それが社会の習慣となるように。”をスローガンに運動を推進、「小さな親切」運動は、日本中に広がりました。道府県に本部、市町村に支部が結成され、ますます運動は充実し、運動参加者総数は284万人を超えるまでになりました。

21世紀になって、日本はもとより世界中が大きく変化しています。このような時代だからこそ、私たちは「小さな親切」運動を通して、思いやりあふれる、心のかよう社会づくりを目指したいと考えています。

**「小さな親切」八か条【この八か条は、日常生活の基本です。】**

- 1 朝夕のあいさつをかならずしましょう。
- 2 はっきりした声で返事をしましょう。
- 3 他人からの親切を心から受け入れ、「ありがとう」といみましょう。
- 4 人から「ありがとう」といわれたら、「どういたしまして」といみましょう。
- 5 紙くずなどをやたらにすてないようにしましょう。
- 6 電車やバスの中で、お年寄りや赤ちゃんをだいたお母さんには、席をゆずりましょう。
- 7 人が困っているのを見たら、手つだってあげましょう。
- 8 他人のめいわくなることは、やめましょう。

**★ まもなく夏休みです！ ★**

**夏休み**

(1) 夏季休業：7月20日(土)～9月1日(日)の43日間

※学校閉庁日 (学校業務休止期間)：8月13日(火)～8月16日(金)

⇒ご用の場合は、市教委学校教育課 (☎0282-21-2471) にご連絡ください。

(受付時間：8：30～17：00)

(2) 第2学期始業式：9月2日(月)

地域、保護者の皆様には、交通事故や水の事故、感染防止等も含め、これまで以上に都賀中学生を見守って頂くとともに、温かくご指導くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。お世話になります。

**【まこと一ク】その4～「夏の雲」の呼び名いろいろ&「夏の俳句」～**



○積乱雲、入道雲、雷雲、鉄鉦雲、板東太郎 (武蔵地方)、丹波太郎 (大阪地方)、比古太郎 (九州地方)、信濃太郎、石見太郎、安達太郎…。  
⇒「太郎」がつくので、夏の雲は男だったのかも知れませんか？

○「干瓢かんぴょうの 乾かわく風ある 長昼寝ながひるね」(上野波翠)

⇒私の大本家は、下野市のかんぴょう農家です。私の子どもの頃の夏休みは、ラジオ体操が終わると、かんぴょう干しのお手伝いをしました。その前には決まってクワガタ取り…！夏の太陽を浴びて (熱中症に注意)、さらに遅い都賀中学生であってほしいと願っています。

※「まこと一ク」は、“誠の話”をさせていたたいております。